

ベコライフカートAで胎子を清潔に

ベコライフカートAについては昨年 1 月から発売され、はや 1 年が経過しました。昨日とある牧場で難産（死産 & 側頭位）症例があり、外国人実習生と一緒に整復した後 娩出するときです。



胸まで出たところで牽引を一時中止し、カートがこの位置に設置しました。

そして、カート越しに母牛のいきみに合わせて牽引すると・・・



” ボトン ” という鈍い音と共に子牛はカートの中に飛び込みました。

思わず “ ナイスキャッチ ” と言っていました。

通路の汚れは全く付いていません。

この農場では昨年 3 月末に購入されておられるので、ほぼ 1 年間使用されています。使いこなされているようでとてもうれしく思いました。その方曰く、「これでやらないと牛が汚れます。」と、キッパリ。それを聞いてさらにうれしさが増しました。

開発チームのコンセプトは『安全に、清潔に、一人で出来る（生まれた子牛を優しく扱う）』でしたので、それが実現できている様子を目の当たりにして、『少しは貢献したかな』と安堵しました。

でもまあ “ 欲 ” というものも片方で芽生えまして、「この製品の良さをもっとアピールして、上記コンセプトが世の中にもっと広がってくれたらなあ」とか、出産の延長線上で、「出生子牛の体重計（バースデー計器）（右写真）の価値も知ってもらわなきゃな～」とか・・・

